

次世代により良い社会を継承したい

～ 想いを行動にそして形に
一人ではできないけれど ～



CONSUWEL

No. 1

〈2012/2〉

News Letter

今年度もコンサウエルの活動にご支援をいただきありがとうございました。多くの方々との出会いのなか、皆様方から様々なご協力やご支援を得て活動を行うことができました。

ところで、今般、あらたに *CONSUWEL News Letter* を発刊させていただくことになり、今年度の主だった活動を次ページ以降で紹介させていただきました。

従来から実施してきたデジタル・アーキビストの養成のための講習会の開催は勿論のこととして、当会にとって今年度特筆すべきことは、新たにミンダナオ国際大学とのデジタルアーカイブ事業をスタートさせることができたことです。

ミンダナオ国際大学は当地の日系人会が中心となって設立された大学ですが、今後当会ではデジタルアーカイブ事業を着実に展開させていくことは勿論のこととして、それに限るのではなく、現地学生の修学援助や日比友好のための各種の共同事業を展開していきたいと考えています。

また、デジタルアーカイブ開発やデジタル・アーキビスト養成に関しては、文化伝承のためのツールとしてのデジタルアーカイブとさらに深くかかわっていただけるように、関連するさまざまな知識や技術を習得していただく講習会を、各界から講師をお招きし開催したいと考えています。

また、京都という文化資源の宝庫を場とした、実地での各種研修の開催も視野に入れたと考えています。

今後とも会員の皆様方からのさまざまなご提案をいただき、次年度のコンサウエルの活動がより実り多いものになるように努力する所存です。

特定非営利活動法人 コンサウエル

〒615-0074 京都府京都市右京区山ノ内苗町 8-1-706

TEL 075-950-7158 E-mail staniguchi@npo-csw.org

<http://www.npo-csw.org/>

報告①

ミンダナオ国際大学との デジタル・アーカイブ事業を開始

〈7月31日～8月3日：ミンダナオ国際大学訪問〉



ミンダナオ国際大学学長室にて
Ines P.Mallari 学長（右から2番目）



ミンダナオ国際大学



感謝状

フィリピンミンダナオ島のダバオにはかつて東南アジア最大の日本人街がありました。日本人によるダバオ開拓は1904年に始まり、アバカ生産による好景気にも手伝われ、1930年代後半には当地の日本人の人口は2万人に達したと言われています。しかしながら1941年12月の第二次世界大戦の開戦とともにダバオの日本人社会は悲劇の一途をたどることになりました。この戦争でダバオにおいて戦争に参加した一般邦人は5027名とされていますが、そのうちわずか374名のみが生き延びることができたといわれています。当時の状況等については一部の研究者によって記録・研究がなされていますが、いまだ充分とは言えません。

当法人ではこうした状況を鑑みミンダナオ国際大学（以下 MKD）と協力し、当時の記憶を持つ日系人を中心とした方々の記録を後世に残す活動を行うことになりました。

先般、7月31日から8月3日まで MKD を訪れ、Ines P.Mallari 学長等と会談し、ミンダナオ日本語放送の活動を行っている学生達や、日本人指導者として現地に滞在している三宅一道氏、長谷川大輔氏等の協力をあおぎながら本格的にこれらの記録とともに、現在のダバオを広くより多くの方々に知らせるための撮影およびコンテンツ作成を行っていくことに合意しました。

また後日、当活動に対して、ミンダナオ国際大学学長並びに日本文化センター長から感謝状をいただきました。

報告②

準デジタル・アーキビスト 講習会・認定試験実施



《準デジタル・アーキビスト資格取得講習会》を京都および東京で開催いたしました。

【京都】 開催場所：（財）京都教育文化センター（京都市左京区）
講習会・試験実施日：2011年7月16日(土)・17日(日)
受講者数：13名

講師：谷口知司 京都橘大学教授
池上 惇 京都大学名誉教授
白川雄三 大阪学院大学教授

【東京】 開催場所：ハロー賃会議室（東京都新宿区）
講習会・試験実施日：2011年11月3日(月・祝)
受講者数：38名

講師：谷口知司 京都橘大学教授
坂井知志 常磐大学教授
津川典久 NPO 法人コンサウエル



【福岡】（予定） 開催場所：福岡工業大学短期大学部
講習会・試験実施日：2012年3月3日(土)



認定試験

講習会の内容

- ◇デジタル情報についての基礎理論
- ◇データの取り扱い 「記録・保存」等
- ◇情報倫理と法的理解 「知的財産・著作権」等
- ◇情報モラル
- ◇情報発信等
- ◇試験対策授業

報告③

短期デジタル・アーキビスト 講習会・認定試験実施



◆短期デジタル・アーキビスト資格取得講習会 〈共催：岐阜女子大学〉

開催場所 【東京】 私学会館アルカディア市ヶ谷
講習会・試験実施日 2011年12月3日(土)～1月9日(日) [全5日間]
受講者数 23名
講師：谷口知司 京都橋大学教授
坂井知志 常磐大学教授
水嶋英治 常磐大学教授
猪股謙吾 デジタルアーカイブカメラマン
馬場康成 ニーズミート



カリキュラム

「デジタル・アーカイブ」、「デジタル・アーカイブと知的財産」
「マルチメディア」、「文化情報メディア」、「文化情報の管理」、
「デジタル・アーカイブ演習」等



デジタル・アーカイブ演習 風景

報告④

堺市立中央図書館主催

「～まちの記憶を記録に～ 堺メモリー サポーター講座」

〈2012年1月29日〉



地域に残る古い写真などを歴史資料として図書館でデジタル化して保存する活動のサポーターを養成する講座の授業を担当いたしました。

30歳代～70歳代まで幅広い方々が参加され、熱心に授業をお聞きいただきました。授業の最後に、ワークショップとしてメタデータ作成実習を行いました。